

## 三朝町望ましい小学校施設等検討委員会 第2回会議 会議録

- 1 日 時 令和2年4月23日(木) 午前9時30分～午前12時05分
- 2 会 場 三朝町総合文化ホール2階 国際交流室
- 3 出席者 【委 員】別紙名簿のとおり  
【オブザーバー】湯本氏、山下氏、戸田氏、湯口氏  
【事務局】西田教育長・山中課長・小谷指導主事・福田係長・早苗専門員
- 4 概 要 【辞令交付】人事異動による新たな検討委員会委員として2名に辞令交付  
【目的と役割】策定審議会の設置目的と役割について再確認  
【候補地提案】小学校施設候補地について事務局案を提案  
【学校等視察】現在の小中学校と、事務局案に関係する公用地を視察  
【意見交換】事務局提案内容と現地視察を踏まえ、各委員からの意見提案
- 5 内 容
- (1) 委員長あいさつ
- ・ 県内でも新型コロナウイルスへの感染者が出たことで、さまざまな対応に追われているところ。
  - ・ 鳥取短期大学では、遠隔授業の準備が進められている。
  - ・ 本日の会議では現地確認も予定されており、さらにはある程度の意見のまとめをしなくてはならないということで、内容が盛りだくさんとなるが、皆様のご協力をいただきたい。
- (2) 委員交代
- 西村委員→徳永委員(中部教育局社会教育担当)  
富山委員→藤原委員(三朝小学校長)
- (3) 本検討委員会における検討の進め方について ※・委員意見等 →事務局説明
- 本検討委員会の設置目的としては、すでに第1回で確認したとおり、専門的見地から小学校施設等のレイアウトについて主に意見をいただくこととしているが、第1回会議では施設の候補地についての協議が多くの時間を占めることとなった。
  - ただ、施設の検討をするうえで、候補地の検討は切っても切り離せないものであることから、校舎配置等と施設の候補地に関する整備内容について提案いただくことを本検討委員会の役割とする。
  - 検討に際しては、上述のとおり校舎と教室の配置面、立地面に加え、設計デザイ

ン面についても意見をいただきたい。

- ・ 5月末までに全てをまとめるのはタイトすぎるのではないか。
- 検討の進め方として、5月14日に予定している第3回会議で提案のまとめをしてもらいたいと考えているが、急なスケジュールであるため、5月末までにまとめる提案は候補地と校舎の規模感までを目標とし、その後6月末までに校舎のレイアウトを含めた最終案として提案をまとめてもらいたい。

(4) 小学校施設の校舎配置と候補地選定等について ※・委員意見等 →事務局説明

→ 第1回会議で8つの候補地について説明したが、その際、まず現在の小学校場所については町の大きな水源があり、建設が困難であることをお伝えしたほか、バス停から距離が遠く、徒歩圏内でないと考えられる場所や、ハザードエリアにある場所を除いた結果、Bの場所(現在の中学校場所)が消去法で残ることとなったため、その場所に小学校施設および附属施設を整備した場合のイメージを敷地図として今回提案している。

→ 校舎配置図については、現在の小学校の規模感で作成したもの、15年~20年後に小中学校がいずれも1学年1クラスとなった場合に小中学校両方の機能を入れた場合の規模感で作成したもの、両者の規模の比較という3つの資料を事前に配布しているほか、当日の資料として、小中学校両方の機能を入れた校舎を3階建てとし、実際その施設へ約5年後に小学校のみが入った場合の規模感を表したものを配布した。

- ・ 候補地の案としてA~Hまでがあり、現在の小学校敷地であるAがベストだが、水源があるのでダメ。また、現在の場所から離れすぎるのもダメなので、E~Hは遠すぎると判断。Cはハザードエリアなのでダメとなると、消去法でBとDが残る。

・ 小学生はバスで通っているか。

・ 横手以奥、小河内以奥、湯谷以奥はバス通学。バスを降りてから通学する点で、Bは現在と変わらない。

・ 中学校の敷地に建設すると、中学校のグラウンドがなくなってしまうが、それは現在の小学校のグラウンドで対応できる。

ただ心配なのは、5年後に開校した際、小中学校合わせて約300の家庭数となる中で、駐車場が確保できるかどうか。

・ Eもいいと思うが、遠いという話だった。他に場所がないなら、Bしかないのかなという感じ。一つの建物で済む方がよい。

・ 昨年開校した湯梨浜中は広大な敷地だが、それでも駐車場が足りないと言われていた。ハザードエリアであっても、駐車場用地とすることは可能ではないか。

将来的に一貫校として9年間の教育を提供できれば。

・ 第1回会議では、一貫校ではなく、連携校が望ましいという話だった。

グラウンドが学校敷地内にないというのは使用シーンの想像ができない。できれば敷地内に配置してほしい。

駐車場は敷地内でなくても、近隣にでも整備できればよい。  
プールも校舎の近くにあった方がよい。

(5) 小中学校視察

- ・ 現地に移動し、小学校、中学校に加え、候補地Dも視察。

(6) 視察後意見交換（提案意見等列挙） ※・委員意見 →事務局説明

- ・ Bで教育環境が整うのか。Dはバス停まで距離があるが、BとDはそれほど離れていない印象がある。
- ・ 消去法ではBだが、DやEも検討の余地はあるのでは。子どもたちが過ごしやすい環境を考えるべき。
- ・ Bの課題はクリアできるのか。DやEの選択肢はないのか。
- ・ 将来のことを考えないといけない。Bで工夫してと思ったが、狭い中で支障があるなら他の場所を検討せざるを得ない。

ただ、町の財政を考えると、Bで進めて近場のDも考えるというのはいかがでしょうか。

- ・ できるだけ早く小学校を新しい環境にしてほしい。  
仮にAに可能性があったとしても、仮設校舎を必要とするなら子どもたちが落ち着かなくなるのでダメ。
- ・ 現在の中学校の給食は温かい。子どもたちから聞くと、小学校と比べても違うらしい。給食センターが近いのは良い。
- ・ BよりDなど他の案がよいが、町の要件を考えるとBやむなしというところ。ただ、中学校敷地内では狭く、学校運営に支障が出るのではないかと。

→ 安全面は配慮しないとイケない。

限られた条件の中で設計を考えないとイケない。グラウンドも制限される。

- ・ Bやむなしだが、小学校のグラウンドを中学校としても使用することを考える必要がある。

→ 安全面第一。可能な限り使えるものは使う必要がある。

- ・ 細かい話だが、工事車両はどうか。

→ 通学路を配慮した対応をしないとイケない。

- ・ 学童クラブに通う子どももその道を利用している。
- ・ 整理をすると、Aは水源があるので新たな建築ができず、本当にダメなのか。

→ 賀茂橋施工の際、町の上水道が枯渇した経過があり、どの方向から水源に水が来ているのか不明。小学校の場所に新築や増築をすると、地中に杭を打つことになり、地下水の流れに影響がある可能性がある。

この水源は町の上水道区域の8割を占めており、リスクが大きすぎる。

- ・ Bは置いておいて、F G Hは遠すぎるのでダメ。

→ Aと、以前町が議会に提案したIはいずれも先ほどの水源に影響することと、その調査に2年を要すること、用地取得に要する期間が不明なことから、開校は令和

10年度になる可能性がある。

B以外では、国庫負担金等の申請時期はBと同じだが、AやIと同じく用地取得に要する期間が不明であり、令和9年度の開校となる可能性がある。

Bは、令和6年度末に工事が完成する見込みであり、その結果、統合後6年以内の開校で適用となる国庫負担金の特例措置が受けられ、補助率が1/2より上の5.5/10となることが見込まれるため、財源の面で大きく他の候補地より優位といえる。

- ・ 確かに財源の面は大きい話。
- ・ 町の財源を度外視するなら他の案。財源を考えるとBとなるが、駐車場などを別に考える必要あり。
- ・ Bやむなしの時、付帯意見はありか。  
Bにせざるを得ないが、課題が多い。その整理をして、次回の資料で用意してもらおう。  
また、設計に夢がほしいが、この敷地の中で凝ったものとしてもらうか。  
最終的に一貫校を目指すのか。
- ・ 一貫か、連携か。連携はそれぞれの学校の内容が必要であり、一貫は9年間を見通す。
- ・ 一貫は6年生が失われる。中1ギャップは解消されるが。
- ・ 一貫と連携のことも検討しないと、校舎配置に影響がある。
- 一貫校と連携校のことも決めるとなると、時間がとても足りない。連携校として必要最小限のものを図示しておけば、その後一貫校という話になっても不要な教室を外す作業で済むが、ここで一貫校と決めてかかると、後で連携校となった場合に修正が大変になるので、資料としては必要最小限の連携校ということにさせてほしい。
- ・ Bやむなしも、課題について解決が図れるような資料を準備してほしい。

#### (7) その他

- ・ 工事中から開校、その後という一連の流れを図面で表してもらえるとわかりやすいと思う。

#### 閉 会

- ※ 次回は5月14日(木)午後1時30分～  
詳細は別途案内、資料は事前送付する。